

第二次アクションプラン平成19年度の進捗状況考察

1. 進捗状況

- (1) 個別計画の64計画、19年度の目標が達成された計画
29計画(達成率 45.3%)

<視点別の達成項目内訳>

地域的な視点	10 計画	1 計画	(達成率 10%)
情報政策的な視点	7 計画	5 計画	(達成率 71.4%)
人的な視点	15 計画	10 計画	(達成率 66.6%)
財政的な視点	24 計画	11 計画	(達成率 45.8%)
<u>業務運営的な視点</u>	<u>8 計画</u>	<u>2 計画</u>	<u>(達成率 25%)</u>
計	64 計画	29 計画	(達成率 45.3%)

- (2) 計画目標の達成年度が平成19年度となっている9計画(達成年度が平成18年度以降と定めた計画を含む)、目標を達成した計画
5計画(達成率 55.5%)

<視点別の目標達成状況内訳>

地域的な視点	3 計画	0 計画	(達成率 0%)
人的な視点	5 計画	4 計画	(達成率 80%)
<u>財政的な視点</u>	<u>1 計画</u>	<u>1 計画</u>	<u>(達成率 100%)</u>
計	9 計画	5 計画	(達成率 55.5%)

2. 考察

- 第2次アクションプランの19年度の計画目標に対し、目標達成率は5割程度に留まった。特に地域的な視点において未達成なものが多くなってしまったが、その理由として、市民ニーズの多様化に伴い、計画を見直したこと、また計画策定時において既に市民への取組みがある程度達成されていたにもかかわらず、サービスの拡大・拡充を目指したためと考える。
一方、人的な視点と情報政策的な視点については、6~7割以上の目標達成率となっており、概ね好調であった。給与や組織、IT等、主に庁内の改革について計画が進行している状況を裏付けている。前年同様に、市民へのPRをより工夫し、積極的な姿勢が一層求められる形となった。
- 19年度までに、計画目標が達成された計画は約6割となっている。上述したとおり地域的視点の未達成が目立つが、人的な視点については、8割の達成となっている。
- 今後も各所管課が一層の創意工夫により、目標を達成できるよう努める必要がある。